



第1回「日本ダウン症会議」での分科会発表者②

これからも「サポートセンター あゆみ」で働きます！

森住 真 (21歳・広島県)

「アドボケート」(advocate)とは、障害関連では、権利擁護のための活動を支持する人、擁護する人、代弁する人の意味です。この企画では、「セルフ・アドボケート」=ダウン症のある人たちに、自ら、自分の言葉で、現在の生活についてや思いなどを伝えていただきます。全国からの発信をお待ちしています。

僕は中学生から職場体験実習をしました。ホームセンターで「いらっしゃいませ」と言いました。保育園では子どもたちがかわいと思ったので、保育園で働きたいと思いました。子ども科学館で実習をした時、封筒の向きを変えて「どうぞ」と言いました。ほめられました。とってもうれしかったです。

会社で実習をした時、ネクタイをしている人が沢山いました。カッコいいと思いました。

高等部の時に「サポートセンター あゆみ」へ見学に行きました。紙を封筒に入れていました。「ここに来る!!」と言いました。実習をして働きたいと思いました。面接の人から「沢山間違えていましたが、休憩の時に皆楽しそうでした。ここで働いていいですよ。これから頑張りましょう」と言われました。とっても嬉しかったです。

「あゆみ」へは、電車とバスに乗って行きます。仕事は【はせ込み】【封入】【検品】をします。箱作りもします。でも、台風の際は休もうかな～と思います。雪の日も休もうかな～と思います。

お給料をもらおうとATMで下ろして電車とバスのカードにチャージします。貯金もします。働いたお金で買い物をするのは楽しいです。

お弁当やお茶を買います。映画のDVDを買います。家族で焼肉へ行った時に僕が払い

ました。お姉ちゃんが「ごちそうさま」と言いました。恥ずかしかったです。

会社で島根に行った時、おじいちゃんにお土産を買いました。おじいちゃんは「嬉しい」と泣いていました。

僕はスポーツが好きです。水泳大会でリレーをしました。金メダルをもらって皆でパンザイをしました。

バスケットもします。ドリブルは楽しいです。ディフェンスも頑張ります。シュートが入るとやった～と思います。

ボウリングもします。ストライクになると嬉しいです。

僕は家族が大好きです。友達が大好きです。「あゆみ」の人が大好きです。仲良くしたいなと思います。

これからも「あゆみ」で働きます。



<プロフィール>

1997年広島県生まれ。地元の小・中学校、特別支援学校高等部に通学。広島支部主催の職場体験実習に参加し様々な職場を見て社会人への憧れをもつようになる。高等部卒業後、プリント会社の就労継続支援A型事業所に就労。余暇は仲間と共にスポーツを楽しむ。最近はお姉さんを見たと照れている。

※これまで会報に掲載してきたこのコーナーの記事をJDSのホームページですべてご覧いただけます。
トップの上のほう「ダウン症のあるお子さんを授かったご家族へ」⇒「主張するセルフ・アドボケートたち」